

8. 地域貢献・連携活動

(1) 大学行事、エクステンション事業の状況

① 主な活動項目

イ 公益学部

令和2年 4月 20日(月)	S1 クォーター開始
6月 9日(火)	S1 クォーター定期試験開始(～6月15日)
13日(土)	SAKATA Tech Night #2001 「データ分析用PC組み立て + テレワーク環境の整備」
18日(木)	S2 クォーター開始
21日(日)	春のオープンキャンパス(第1回)開催
7月 10日(金)	高校教員向け 大学説明会 開催
19日(日)	夏のオープンキャンパス(第1回)開催
31日(金)	公益教養プログラム FORUM21 「Webセミナーの開き方」 ※ SAKATA Tech Night 共催
8月 4日(月)	S2 クォーター定期試験(～8月7日)
9日(日)	夏季休業期間開始(～9月27日) 夏のオープンキャンパス(第2回)開催
8月 11日(木)	集中講義開始(～9月2日)
9月 18日(金)	春学期卒業証書授与
27日(日)	秋のオープンキャンパス(第1回)開催
28日(月)	S2 クォーターガイダンス(1,2年) 専門演習ガイダンス
29日(火)	S2 クォーターガイダンス(3,4年)
30日(水)	A1 クォーター授業開始
10月 9日(金)	地元高校情報科生徒のメディア情報コース体験プログラム
18日(日)	公翔祭 秋のオープンキャンパス(第2回)開催
21日(水)	公益教養プログラム FORUM21 「ニュージーランド短期語学留学報告会」
24日(土)	総合型選抜→合格発表 11月2日 ギャップイヤー選抜 →合格発表 11月2日
令和2年 10月 28日(水)	サービスマーケティング支援事業 「フリーライターに聞く！魅力が伝わる文章の書き方講座」
11月 2日(月)	SAKATA Tech Night #2003 「3Dプリンタに挑戦してみよう！」
16日(月)	A1 クォーター定期試験開始(～11月21日)
21日(土)	指定校制推薦選抜→合格発表 12月4日 学校推薦型選抜(A日程)→合格発表 12月4日
24日(火)	コース選択ガイダンス 公益教養プログラム FORUM21 「幕臣と明治政府－行政的側面から明治維新を考える－」
11月 24日(火)	メディア情報コース学生と市内 IT 関連企業等との交流事業

25日(水)	A2クォーター開始
12月18日(金)	公益教養プログラム FORUM21 「English Pronunciation—Why, and How to Improve it」
19日(土)	学校推薦型選抜(B日程)→合格発表 12月25日 編入学選抜(A日程)→合格発表 12月25日 留学生、帰国生選抜 →合格発表 12月25日
23日(水)	サービスマーケティング支援事業 「スマホで簡単♪LINEスタンプ制作講座」
26日(土)	冬季休業期間開始(～1月11日)
令和3年1月7日(木)	卒業論文提出期間(～1月14日 ※ 平日のみ)
13日(水)	SAKATA Tech Night #2004 「IoTデバイスを作ってみよう!」
16日(土)	大学入学共通テスト 1日目
17日(日)	大学入学共通テスト 2日目 大学入学共通テスト利用選抜(A日程)→合格発表 2月12日 大学入学共通テスト利用選抜(B日程)→合格発表 3月10日 大学入学共通テスト利用選抜(C日程)→合格発表 3月25日
22日(金)	SAKATA Tech Night #2005 「熱溶解積層方式の3Dプリンタに挑戦!」
2月1日(月)	春季休業期間開始
2日(火)	学生活動支援助成金 公開プレゼンテーション及び審査会
4日(木)	一般選抜(A日程)→合格発表 2月12日
5日(水)	集中講義開始(～2月18日)
8日(月)	共創カフェ「食品ロス勉強会」
11日(木)	公益教養プログラム FORUM21 「ロビン・フッド伝説の起源とイギリス中世の森」 公益教養プログラム FORUM21 「わたしたちは今どこにいるのか—ジェンダーの視点から—」
3月3日(水)	共創カフェ 「10年目の3.11を考える」
4日(木)	一般選抜(B日程)→合格発表 3月10日 編入学選抜(B日程)→合格発表 3月10日
令和3年3月4日(木)	社会人選抜 →合格発表 3月10日 産学連携事業「庄内地域企業と東北公益文科大学との合同勉強会」
10日(水)	ビジネスマッチ東北2021春
18日(木)	一般選抜(C日程)→合格発表 3月25日
21日(日)	卒業式
24日(水)	SAKATA Tech Night #2006「2020年度の総まとめ」

□ 公益学研究科

令和2年4月4日(土)	新入生ガイダンス(令和2年度春学期入学者) 春学期履修登録受付(～5月2日)
-------------	---

- 18日(土) オンライン授業講習会
- 20日(月) 春学期授業開始(オンライン)
- 5月16日(土) 院生研究報告会(春学期修了予定者/ハイフレックス)
- 7月11日(土) 院生研究報告会
- 23日(木) オープンキャンパス 2020 Vol. 1
- 8月3日(月) 夏季休業期間開始(~9月22日)
春学期集中講義(~9月9日/一部の科目はオンライン)
- 23日(日) 一般選抜試験、社会人特別選抜試験
(令和2年度秋学期入学/合格発表8月28日)
- 9月12日(土) 春学期修了式(ハイフレックス)
- 19日(土) 秋学期入学式・新入生ガイダンス
- 23日(水) 秋学期授業開始(一部の科目はオンライン)
秋学期履修登録受付(~10月3日)
- 28日(月) 公開講座「公益学総論」第1講(ハイフレックス)
- 10月12日(月) 公開講座「公益学総論」第2講(ハイフレックス)
- 19日(月) 特別講座「SDGsで考えるこれからの社会と公益」第1回(ハイフレックス)
- 26日(月) 公開講座「公益学総論」第3講(ハイフレックス)
- 11月9日(月) 公開講座「公益学総論」第4講(ハイフレックス)
- 11日(水) 特別講座「SDGsで考えるこれからの社会と公益」第2回(ハイフレックス)
- 14日(土) 院生研究報告会
- 25日(水) 大学院学内特別選抜試験(合格発表11月30日)
- 30日(月) 公開講座「公益学総論」第5講(ハイフレックス)
- 12月2日(水) 特別講座「SDGsで考えるこれからの社会と公益」第3回(ハイフレックス)
- 7日(月) 公開講座「公益学総論」第6講(オンライン)
- 12日(土) 大学院オープンキャンパス 2020 Vol. 2
スクール(学校)ソーシャルワーク オンラインシンポジウム
「これからのスクールソーシャルワークを考える」
- 令和2年12月14日(月) 特別講座「SDGsで考えるこれからの社会と公益」第4回(オンライン)
- 20日(日) 第10回「知の拠点庄内」シンポジウム
「庄内らしい有機農業のかたちを考える」(ハイフレックス)
- 21日(月) 公開講座「公益学総論」第7講(ハイフレックス)
- 令和3年1月18日(月) 公開講座「公益学総論」第8講(ハイフレックス)
- 2月3日(水) 春季休業期間開始(~4月11日)
- 2月3日(水) 秋学期集中講義開始(~2月21日/オンライン)
- 28日(日) 大学院社会人特別選抜試験(令和3年度春学期入学/合格発表3月5日)
- 21日(日) 学位授与式(令和2年度秋学期修了者)

② 市民交流の主な実績

項 目	参加人数等		内 容
	今年度実績	(前年度実績)	
図書館利用者、貸出し冊数	16,243 人 4,888 冊	(20,866 人) (7,848 冊)	学生、教職員を除く一般市民の利用者 図書館（酒田）6,507 人、1,941 冊 致道ライブラリー（鶴岡）9,736 人、2,947 冊 ※ 利用者全体 図書館（酒田）16,027 人、8,817 冊 致道ライブラリー（鶴岡）10,059 人、3,517 冊 (前年度:利用者全体 42,364 人、貸出 17,226 冊)
カフェテリア利用者	19,130 人	(46,227 人)	令和 2 年度利用者全体人数 (学生、教職員利用者数) ※ 一般の利用者なし
市民の施設利用	43 件 788 人	(780 件) (28,472 人)	市民団体等に大学施設の貸出し 酒田キャンパス 40 件 450 人 (前年度: 734 件 25,509 人) 鶴岡キャンパス 3 件 338 人 (前年度: 46 件 2,963 人)
聴講生等数	8 人	14 (人)	春学期: 2 名 (延べ 2 科目) 秋学期: 6 名 (延べ 7 科目) (前年度: 春学期 7 人、秋学期 7 人)
公開講座の受講者	27 回 712 人	(49 回) (1,239 人)	公益教養プログラム 6 回 462 人 共創カフェ 2 回 17 人 SAKATA Tech Night 6 回 101 人 (前年度: 16 回 840 人) 公益学総論 8 回 22 人 特別講座「SDGs で考えるこれからの社会と公益」 4 回 50 人 スクール(学校)ソーシャルワーク オンラインシンポジウム「これからのスクールソーシャルワークを考える」1 回 60 人 (前年度: 33 回 399 人)
項 目	参加人数等		内 容
	今年度実績	(前年度実績)	
教員による講演	45 件	(56 件)	学内外における授業以外の講演等
教員の審議会等への参画	28 件	(42 件)	学外の各種委員就任等
インターンシップ参加	261 人	(202 人)	内、社長インターンシップ 0 人 (前年度: 10 人)

大学祭等の参加者	約 648 人	約 2,793 人	大学祭 約 150 人 (前年度: 約 2,000 人) オープンキャンパス 【学部】 第 1 回 (6/21) 53 人 (前年度: 58 人) 第 2 回 (7/19) 99 人 (前年度: 138 人) 第 3 回 (8/ 9) 153 人 (前年度: 228 人) 第 4 回 (9/27) 87 人 (前年度: 156 人) 第 5 回 (10/18) 85 人 (前年度: 118 人) いつでもオープンキャンパス 2 人 (前年度: 33 人) 【大学院】 第 1 回 (7/23) 16 人 (令和 2 年度から実施) 第 2 回 (12/12) 3 人 (令和 2 年度から実施)
地域行事への参加	0 人	多数	酒田まつり ※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 (前年度: 33 人) その他地域活動への参加 なし (前年度: 多数)
学生のクラブ活動	公認クラブ 19 団体 公認サークル 12 団体	公認クラブ (19 団体) 公認サークル (12 団体)	【主な活動実績】 ・硬式野球部: 南東北野球秋季リーグ 2 位 ・女子サッカー部: 東北地域大学女子サッカーリーグ 3 位 ・男子バレーボール部: 東北バレーボール大学リーグ 1 部 8 位 ・女子バレーボール部: 東北バレーボール大学リーグ 1 部 3 位
本学に対する 寄付件数	91 件	(160 件)	給付型奨学金基金繰入指定寄附金 2 件 (前年度: 2 件) その他寄付金・現物寄附 (寄贈本除く) 20 件 (前年度: 13 件) 寄贈本件数 69 件 335 冊 本館 (酒田) 62 件 321 冊 致道ライブラリー (鶴岡) 7 件 14 冊 (前年度: 145 件 706 冊)

③ 公開講座

イ 学部

講座名	公益教養プログラム FORUM21
主催者	地域共創センター
期 間	令和2年7月31日（金）～令和3年2月11日（木・祝）（全6講）
事業費	地域共創センター
受講料	無料
概 要	公益教養プログラム FORUM21 「Webセミナーの開き方」 ※SAKATA Tech Night 共催
	公益教養プログラム FORUM21 「ニュージーランド短期語学留学報告会」
	公益教養プログラム FORUM21 「幕臣と明治政府－行政的側面から明治維新を考える－」
	公益教養プログラム FORUM21 「English Pronunciation－Why, and How to Improve it」
	公益教養プログラム FORUM21 「ロビン・フッド伝説の起源とイギリス中世の森」
	公益教養プログラム FORUM21 「わたしたちは 今 どこにいるのか －ジェンダーの視点から－」

講座名	共創カフェ
主催者	地域共創センター
期 間	令和3年2月8日（月）～令和3年3月3日（水）（全2講）
事業費	地域共創センター
受講料	無料
概 要	共創カフェ 「食品ロス勉強会」
	共創カフェ 「10年目の3.11を考える」

講座名	SAKATA Tech Night
講 師	東北公益文科大学 特任講師 三浦彰人
期 間	令和2年6月13日（土）～令和3年3月24日（水）（全6講）
事業費	地域 IT 人材等育成事業（酒田市委託）
受講料	無料
概 要	SAKATA Tech Night #2001 「データ分析用 PC 組み立て + テレワーク環境の整備」
	SAKATA Tech Night #2002 「webセミナーの開き方」 ※ FORUM21 との共催

	SAKATA Tech Night #2003 「3Dプリンタに挑戦してみよう!」
	SAKATA Tech Night #2004 「IoT デバイスを作ってみよう!」
	SAKATA Tech Night #2005 「熱溶解積層方式の 3D プリンタに挑戦!」
	SAKATA Tech Night #2006 「2020 年度の総まとめ」

ロ 大学院

講座名	公開講座「公益学総論」
開催日	令和2年9月28日(月)、10月12日(月)、10月26日(月)、11月9日(月)、11月30日(月)、12月7日(月)、12月21日(月)、令和3年1月18日(月) (全15コマ、8日間)
講師	石原俊彦氏(関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科 教授)、後藤好邦氏(山形市役所企画調整部 企画調整課 課長補佐)、青木孝弘氏(会津大学短期大学部 産業情報学科 准教授)、伊藤真知子教授、武田真理子教授、小野英一教授、広瀬雄二准教授、玉井雅隆准教授
受講料	30,000円(第3講、第4講、第6講については限定受講回として3,000円)
会場	東北公益文科大学 鶴岡キャンパス 大学院ホールまたはオンライン (ハイフレックス)
概要	8名の講師がオムニバス形式で様々な分野における「公益」について講義し、これまでの公益学研究の展開と公益概念に対する理解を深めた上で、実社会における公益のあり方を議論する。
参加者	22名(うち院生5名)

講座名	特別講座「SDGsで考えるこれからの社会と公益」(全4回)
開催日	令和2年10月19日(月)、11月11日(水)、12月2日(水)、12月14日(月)
講師	佐藤亮敏氏(リコージャパン株式会社 販売事業本部 山形支社 地域創生推進グループ)、堀幸夫氏(SOMPOホールディングス株式会社 CSR室 課長)、藤井綾美氏(KPMGあずさサステナビリティ株式会社 シニアコンサルタント)、五十嵐一憲氏(鶴岡市 企画部政策企画課 課長補佐)
受講料	1,500円
会場	東北公益文科大学 鶴岡キャンパス 大学院ホールまたはオンライン (ハイフレックス)
概要	SDGsとは何かを具体例を通して学び、講師と受講者が一緒にディスカッションを行うことで、SDGs達成に向けたこれからの社会の在り方を共に考える機会とした。
参加者	50名

講座名	スクール（学校）ソーシャルワーク オンラインシンポジウム 「これからのスクールソーシャルワークを考える」
開催日	令和2年12月12日（土）
講師	<p><基調講演></p> <p>演者：鈴木庸裕氏（日本福祉大学 教育・心理学部子ども発達学科教授、福島大学名誉教授）</p> <p><パネルディスカッション></p> <p>コメンテーター：鈴木庸裕氏（日本福祉大学 教育・心理学部子ども発達学科教授、福島大学名誉教授）</p> <p>コーディネーター：牧野晶哲氏（白梅学園大学 子ども学部家族・地域支援学科 准教授、本学大学院 非常勤講師）</p> <p>シンポジスト：齋藤祐子氏（山形県庄内町教育相談専門員、本学大学院修士課程2年）、齋藤隆悠氏（山形県酒田市立第三中学校教諭、本学大学院修士課程1年）</p>
受講料	無料
会場	オンライン
概要	スクールソーシャルワークの分野において第一線で活躍され、教育学に造詣が深い鈴木庸裕氏（日本福祉大学 教育・心理学部子ども発達学科教授、福島大学名誉教授）にご講演いただいた。その後、本学非常勤講師の牧野晶哲氏と庄内地域の教育現場に携わる本学大学院生を交え、これからの子ども支援やスクールソーシャルワークの充実に向けてディスカッションを行った。
参加者	60名

(2) 受託研究・受託事業等の状況

（受託契約期間が令和2年度にかかるもの）

① 受託研究 11件

事業名	GIS コンテンツ作成業務委託
委託者	酒田市
研究者	広瀬 雄二 准教授
契約期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
契約金額	300,000円
研究目的及び概要	酒田市が導入しているGISシステム（通称「さかたまっぷ」）は、様々なコンテンツを追加できる仕様となっている。そこに市民目線の情報を提案し、実際に追加する情報を作成することで、市民の利便向上に資することをめざした。

事業名	笹川平和財団業務委託（各国の海洋政策に関する調査研究）
委託者	公益財団法人 笹川平和財団
研究者	樋口 恵佳 講師
契約期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
契約金額	548,560円
研究目的 及び概要	諸外国の海洋政策に関する調査研究を行い、調査研究成果を発信した。 新たな対象国を含めて、各国の海洋管理法制の状況や海洋環境保全に係る 施策等を整理した。

事業名	笹川平和財団業務委託（海洋白書に関する情報収集・整理）
委託者	公益財団法人 笹川平和財団
研究者	樋口 恵佳 講師
契約期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
契約金額	548,560円
研究目的 及び概要	「海洋白書2021」の第2部（世界の動き）の原稿として、次の項目について2020年1月～12月の海洋の国際機関等の動向を収集し、機関別・日付別に事項を整理した。 ・国際連合（国連：United Nations）及び国連関連機関 ・国連海洋法条約 ・条約機関等 ・地域漁業管理機関等 ・アジア・大洋州 ・欧州 ・米州 ・中東・アフリカ ・極域

事業名	ニュージーランド連続講座業務委託
委託者	酒田市
研究者	武田 真理子 教授
契約期間	令和2年10月1日～令和3年3月31日
契約金額	110,000円
研究目的 及び概要	ニュージーランドを相手国としたオリンピック・パラリンピックホストタウンをきっかけとして、本市とニュージーランドの市民同士の交流が深まることを目的に、「ニュージーランド連続講座」を開催した。

事業名	令和2年度酒田市観光に関する調査研究業務
委託者	酒田市
研究者	三木 潤一 教授
契約期間	令和2年9月14日～令和3年3月22日
契約金額	400,000円

研究目的 及び概要	<p>酒田市が実施した「令和 2 年度酒田市観光動向調査」の集計を行い、分析を行った。その調査分析結果をもとに、以下について調査研究を実施し、調査結果の取りまとめを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酒田市滞在期間中の消費額 ・酒田市での 1 日当たりの消費額 ・酒田市での昼と夜の消費額
--------------	--

事業名	官民連携の実現可能性に関わる調査研究等業務
委託者	山形県建設業協会酒田支部
研究者	斉藤 徹史 准教授
契約期間	令和 2 年 10 月 1 日～令和 2 年 12 月 31 日
契約金額	
研究目的 及び概要	<p>地域課題の一つでもある、公共施設の利活用や再編等を行う公共施設マネジメントを実現するためには、官民連携 (Public Private Partnership) の実践が必要となる。本受託業務では、会員企業等が官民連携に参画することを目指し、その効率的、具体的な手法に関する調査研究を実施した。併せて、会員企業等に調査研究の成果等を教授する機会を設けた。</p>

事業名	令和 2 年度 児童虐待対応に関する調査及び研修指導業務
委託者	社会福祉法人本楯たちばな会
研究者	灰谷 和代 准教授
契約期間	令和 2 年 7 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日
契約金額	120,000 円
研究目的 及び概要	<p>児童虐待対応に関する調査及び調査結果に基づいた職員への研修指導業務を行った。</p>

事業名	地域共創コーディネーター養成プログラム構築事業
受託者	東北公益文科大学 (地域共創センター)
委託者	鶴岡市
契約期間	令和 2 年 8 月 5 日～令和 3 年 3 月 31 日
契約金額	220,000 円
研究目的 及び概要	<p>「地域共創コーディネーター養成プログラム」は、人口減少、少子高齢化が進む地域コミュニティにおいて課題を解決しようとする住民等との課題の共有と対話を推進する「ファシリテーション」役割を担い、多様な個人や組織の連携・協働を促進し、課題解決の実践を仕掛けることができる「コーディネーション」役割を果たす人材を育成することを目的とし、平成 28 年度より開講している。6 年目となる令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、プログラムの核となる大学院科目「共創の技法」及び「合意形成・コーディネーション論」が休講となったが、6 年間のまとめとして、特別講座を実施した。</p>

事業名	地域 IT 人材等育成事業
受託者	東北公益文科大学（地域共創センター）
委託者	酒田市
契約期間	令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 2 月 26 日
契約金額	9,600,000 円
研究目的 及び概要	<p>本学の高度な情報技術を活かした各種講座、研究を通じ、地域で活躍できる IT 人材育成をするとともに、若者の地元定住を促進することを目的とし、令和 2 年度より受託している。</p> <p>4 つの履修証明プログラム（「データサイエンスに係る講座」、「ビッグデータ解析・活用等にかかる講座」、「ドローン活用等を含む空間情報処理に可関する講座」、「情報セキュリティに関する講座」）の開講、「IT に関する技術やアイデア、課題、疑問などを共有、解決するための誰もが参加できるイベントの開催」、「公益大メディア情報コース学生と市内 IT 関連企業、プログラマー等との交流事業」、「地元高校情報科生徒が公益大メディア情報コースを体験するプログラム」、「公益大生が IT を活用して地域課題解決に取り組むプログラム」の 8 事業を展開した。</p>

事業名	ボランティアコーディネーション力 3 級検定業務
受託者	東北公益文科大学（地域共創センター）
委託者	酒田市社会福祉協議会（酒田市ボランティア・公益活動センター）
契約期間	令和 2 年 6 月 30 日～令和 3 年 3 月 31 日
契約金額	300,000 円
研究目的 及び概要	<p>平成 27 年度より「地域共創コーディネーター養成プログラム」の「コーディネーション研修」として認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会共催の「ボランティアコーディネーション力 3 級検定」を開講していたが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、「地域共創コーディネーター養成プログラム」は中止としたが、単独でも開催するべきであるという関係者の判断に基づき、感染症対策を講じた上で、上記事業を実施した。</p> <p>令和 2 年度は酒田市社会福祉協議会より「ボランティアコーディネーション力 3 級検定業務」を受託する形で実施した。チラシ配布、新聞記事、酒田市社会福祉協議会広報誌、大学ホームページへの記事掲載等の方法で一般参加者を募集した結果、申込者は 44 名であった。検定受験者は 42 名（2 名欠席）、検定合格者は 35 名であった。</p>

事業名	舟形町住民主体の地域づくり事業コーディネート業務
受託者	東北公益文科大学（地域共創センター）
委託者	舟形町
契約期間	令和 2 年 4 月 9 日～令和 3 年 3 月 29 日
契約金額	837,152 円

<p>研究目的及び概要</p>	<p>舟形町は平成 29 年に国の地方創生交付金を活用し、「官民協働・地域間連携による住民主体の地域づくり推進事業」の 4 ヶ年計画を策定した。本事業のねらいは少子高齢化・人口減少という現状において、これからの地域づくりについて地域住民と行政が一体となって話し合いを進めて行き、地区計画の策定や地域運営組織の構築などにより、住民主体の地域づくりを推進することである。一年目は中学生以上の住民を対象に「舟形町地域づくりアンケート」を実施し、本事業推進のための庁内ワーキング・チームを組織した。二年目の平成 30 年度は上記アンケート調査結果をもとに、舟形町の 35 町内会において住民ワークショップを開催し、町内会ごとの 5 カ年計画である「町内会びじょん」を策定した。以上の事業実施のために東北公益文科大学との「舟形町住民主体の地域づくり事業コーディネート業務」委託契約が行われた。</p> <p>三年目の平成 31 年度は、町内会単体の地域づくり活動を越えた広域の連携活動の展開を検討するために、4 つの連合町内会地区における住民ワークショップを開催、「地区びじょん」を策定し、舟形町で初となる地域運営組織の構築に向けた準備を進めた。最終年度である令和 2 年度も引き続き、伊藤眞知子教授と武田真理子教授及び地域共創センター職員が担当者となり同コーディネート事業の委託契約を締結し、地域共創コーディネーターの協力を得て、舟形町職員（ワーキング・チーム）の研修、事業推進に必要な企画会議のファシリテーション、その他のコーディネート業務を担い、舟形町における住民主体の地域づくりの推進に貢献した。</p>
-----------------	---

② 補助事業 2 件

<p>事業名</p>	<p>令和 2 年度 公益のふるさとづくり活動補助金 「地域共創による公益のふるさとづくり推進」事業</p>
<p>受託者</p>	<p>東北公益文科大学（地域共創センター）</p>
<p>委託者</p>	<p>庄内開発協議会</p>
<p>契約期間</p>	<p>令和 2 年 6 月 12 日～令和 3 年 3 月 31 日</p>
<p>契約金額</p>	<p>600,000 円</p>
<p>事業目的及び概要</p>	<p>東北公益文科大学では開学以来、学生と教職員が地域をフィールドに研究、教育と地域貢献活動を実施してきた。その中で、地域共創センターは、地域と大学を結ぶ窓口として、また、地域と大学の連携活動の活動拠点としての役割を果たしている。</p> <p>令和 2 年度公益のふるさとづくり活動補助事業では、地方創生に向けた人材育成事業を継続するとともに、これまで同様に本学の地域との協働・共創活動を実践している各事業を支援することにより、本学の地域共創における公益のふるさとづくり活動がさらに進展するよう取り組んだ。令和 2 年度はコロナ禍において学内外での活動がしばらく状況であったが、その中でできることを模索しながら活動した。</p> <p>地方創生に向けた人材育成事業については、令和元年度に引き続き、本学学生で組織する「ハタラクカタチプロジェクト」のメンバーが、若者の視点で庄内地域の企業の魅力や庄内で働くことの魅力を伝えることを目的</p>

	<p>に10社（うち4社は社長）へインタビュー取材を行い、冊子にまとめた。</p> <p>「公益教養プログラム FORUM21」は教員の企画・運営により6回開催、「共創カフェ」も学生主導で2回開催した。</p>
--	---

事業名	持続可能でよりよい地域を目指すためのSDGs 特別講座及びスクールソーシャルワークに関するオンライン勉強会の開催事業		
補助金交付者	庄内開発協議会		
事業期間	令和2年9月23日～令和3年3月31日		
補助金額	200,000円	事業総額	464,183円
事業目的及び概要	<p>本学ならではの知の集積を活用し、また山形県庄内地域における「知・地の拠点」として、この地域におけるSDGsの推進を後押しすべく、まずはSDGsとは何か、山形県内のSDGsに取り組む企業の活動事例を取り上げて学び、さらにSDGs未来都市に選定された鶴岡市と連携し、これからのこの地域の未来の在り方を考える機会として特別講座を開催した。</p> <p>また、山形県庄内地域の教育風土を踏まえたうえで、子どもたちのために大人がそれぞれの立場で何ができ、連携するためにどうしていったらいいのか、その中でスクールソーシャルワーカーが期待される役割等について学び、考える場として、スクールソーシャルワークのオンライン勉強会（シンポジウム）を開催した。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場来場（人数を制限）＋オンラインの形式で開催したが、オンラインの利点が活かされ、北海道から愛知県まで遠方からも参加する方がおり、山形県外の状況についても知ることができた。また、この勉強会を通じて、改めてスクールソーシャルワーカーの存在や役割について多くの人を知ることが必要との声が多く寄せられたことを受け、スクールソーシャルワーカーについて周知するリーフレットを作成し、山形県庄内地域の学校や教育行政を中心に、広く配布した。</p>		

③ 共同研究 3件

研究名	地域建設業の事業継承に向けたストラクチャーに関する研究
相手方	飛島建設株式会社
研究者	斉藤 徹史 准教授
研究期間	令和2年10月1日から令和3年9月30日
研究経費	
研究目的及び概要	<p>後継者難に直面する建設事業者が事業承継を図るためのストラクチャーを共同で研究し、地域の建設業の事業承継の円滑化を図る方法についての提言を行った。併せて、地域の建設業界と行政が連携したプラットフォームの構築を検討し、PPP/PFIをはじめとする新たなビジネスに参入できる環境づくりを研究した。</p>

研究名	庄内藩主酒井家に関する調査研究
相手方	株式会社庄内日報社
研究者	門松 秀樹 准教授
研究期間	令和3年2月15日から令和3年9月30日
研究経費	55,000円
研究目的 及び概要	令和4年は庄内藩主酒井氏が、庄内に入部し400年にあたる。酒井氏の入部から明治維新後までを通史的に把握した。

研究名	酒田市のコンパクトシティ化の検討
相手方	株式会社丸高
研究者	三木 潤一 教授
研究期間	令和3年3月1日から令和4年3月31日
研究経費	605,000円
研究目的 及び概要	酒田市の地域ごと一人当たりの行政コストを把握し、コンパクトシティ化の検討を行った。

(3) 協定等の締結状況

① 学術交流等

新型コロナウイルス感染症拡大により、令和2年度は実施しなかった

(参考) 学術協定締結状況

協定締結年	内 容
平成 18 年	県内 9 高等教育機関 単位互換包括協定
平成 21 年	テンプル大学ジャパンキャンパス (連携協力) 関西学院大学大学院経営戦略研究科 (学術交流)
平成 22 年	中国黒竜江省 東北林業大学 (教育・学術連携基本協定)
平成 23 年	英国 ティーズサイド大学 (研究協力)
平成 24 年	秋田大学 (連携協力協定)
平成 27 年	鶴岡工業高等専門学校 (学術交流・地域貢献) 中国黒竜江省 佳木斯職業教育集團管理委員会 (教育・学術連携基本協定、留学生派遣受入) 中国河南省 河南師範大学 (学術交流) 米国 クレイトン大学 (学術交流)
平成 28 年	台湾 世新大学 (学術交流) 関西学院大学大学院経営戦略研究科 (履修交流)
平成 29 年	米国 オハイオウェズリアン大学 (学術交流) 東北文教大学 (連携協力協定) 中国上海市 上海交通大学 (語学研修支援) 大正大学 (連携協力協定)
平成 30 年	米国 セントラルコネチカット州立大学 (学術交流、学生等相互派遣) ロシア イルクーツク総合大学 (学術交流、留学等の相互実施・協力) 琉球大学国際地域創造学部 (教育・研究連携協定)
令和 2 年	中国吉林省 吉林財経大学 (学術交流) アイルランド コーク大学 (語学研修推進) 中国山東省 山東師範大学 (学術交流)

(4) 各種講演会等への教員の派遣状況 (教授会資料掲載のもの)

氏名	業務内容等	依頼主、会場	期日	備考
武田真理子	貧困問題対策本部における勉強会	日本弁護士連合会、オンライン (Zoom)	令和2年6月11日	講師
	「コロナ危機から考える」連続企画第5回 (Zoom 学習会)	公正な税制を求める市民連絡会、オンライン (Zoom)	令和2年7月19日	講師
	地域福祉委員会委員研修会	(福)鶴岡市社会福祉協議会、藤島地区地域活動センター	令和2年9月8日	講師
	庄内地区教育委員会協議会社会教育部会研修会	庄内地区教育委員会協議会、三川町子育て交流施設テオトル	令和2年11月9日	講師
	酒田光陵高等学校普通科2年次「総合的な探求の時間」	酒田光陵高等学校、同校	令和2年10月7日	講師
	厚木市「共生社会セミナー」	厚木市、オンライン	令和2年11月6日	講師
	令和2年度学区・地区社協役員・コーディネーター等研修会	鶴岡市、鶴岡市中央公民館	令和3年1月29日	講師
	令和2年度鶴岡市地域支えあい活動研修会	鶴岡市、にこふる	令和3年2月19日	講師
伊藤真知子	令和2年度デートDV防止出前講座	山形県子育て若者応援部若者活躍・男女共同参画課、鶴岡南高等学校	令和2年8月27日	講師
	令和2年度デートDV防止出前講座	山形県子育て若者応援部若者活躍・男女共同参画課、酒田東高等学校	令和2年9月2日	講師
	令和2年度デートDV防止出前講座	山形県子育て若者応援部若者活躍・男女共同参画課、酒田西高等学校	令和2年9月10日	講師
	令和2年度女性の人材育成事業「キャリア塾基本コース in 最上」	公財)山形県生涯学習文化財団、新庄市民プラザ	令和2年9月27日	講師
	遊佐町「男女参画をテーマとする講話」	遊佐町、遊佐町役場	令和2年11月30日	講師
	子育て ALLIANCE manabi じかん	ナリワイ ALLIANCE 代表、オンライン	令和3年1月31日	講師
	チャイルドライン庄内受け手ボランティア養成講座第1講	NPO 法人しえば、出羽庄内国際村	令和3年2月6日	講師
梅木 仁	授業研究会での指導(総合的な学習の時間)	酒田市立西荒瀬小学校、同校	令和2年12月8日	講師
	授業研究会での指導(社会科)	酒田市立第三中学校、同校	令和2年9月23日	講師
	授業研究会での指導(総合的な学習の時間)	酒田市立西荒瀬小学校、同校	令和3年2月22日	講師

氏名	業務内容等	依頼主、会場	期日	備考
温井 亨	酒田西高等学校 出張講義	酒田西高等学校、同校	令和2年6月15日	出張講義
	酒田西高等学校 出張講義	酒田西高等学校、同校	令和2年7月13日	出張講義
	遊佐PATフォーラム(仮称)	遊佐町、生涯学習センター	令和2年9月5日	パネリスト
	東田川文化記念館地域連携講座	東田川文化記念館、同館、鶴岡市中心部	令和2年10月31日	講師
	宮城県美術館講座	宮城県美術館館、同館	令和2年12月12日	講師
阿部 公一	酒田東高等学校1年次校内研修	酒田東高等学校、同校	令和2年11月12日	講師
呉 尚浩	酒田東高・国際探求科・飛鳥事前研修講師	酒田東高等学校、同校	令和2年11月27日	講師
斉藤 徹史	土木学会公共工事の価格決定構造の転換に関する研究小委員会	土木学会、本学	令和2年12月18日	報告者
灰谷 和代	令和2年度鶴岡市児童虐待対応研修会・市町連絡会議	庄内児童相談所、同所	令和3年2月24日	講師
倉持 一	(株)飯塚製作所課長研修	(株)飯塚製作所代表取締役本間修、(株)飯塚製作所	令和2年9月9日 など合計6回	講師
	藤島中学校 SDGs 講演	鶴岡市立藤島中学校、同校	令和2年11月24日	講師
	豊浦中学校 SDGs 講演	鶴岡市立豊浦中学校、同校	令和3年1月26日	講師
	庄内総合支庁 SDGs 講演	庄内総合支庁、オンライン	令和3年2月26日	講師
フェック エドモンド	酒田市立西荒瀬小学校英語に関する研修会	酒田市立西荒瀬小学校、同校	令和2年7月10日	講師
	酒田市教育委員会「通じる英語教えます」の講座	酒田市教育委員会、本学	令和2年8月12日	講師
唐 栄	山形県立酒田光陵高校課題研究	酒田光陵高校、同校	令和2年5月22日	講師

(5) 各種委員等の就任実績

(教授会資料掲載のもの)

氏名	業務内容等	依頼先	任期	役割
神田 直弥	山形県自転車ネットワーク策定検討会委員（委嘱機関の延長）	山形県知事	令和2年11月1日～ 令和3年3月31日	委員
武田真理子	山形県立酒田光陵高等学校学校評議員・学校関係者評価委員	山形県教育委員会教育長	令和2年5月11日～ 令和3年3月31日	評議員
	地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構評価委員会	山形県知事	令和2年8月1日～ 令和4年7月31日	委員
	令和2年7月山形県豪雨災害義援金配分委員会	山形県知事	令和2年8月20日～	委員
	酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会総務企画部会	酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会実行委員長	令和元年10月14日～ 令和4年3月31日	部会長
	鶴岡市総合計画審議会	鶴岡市長	令和2年12月1日～ 令和4年11月30日	委員
	庄内南部定住自立圏共生ビジョン懇談会	鶴岡市長	令和2年12月1日～ 令和4年11月30日	委員
	山形県NPO推進委員会	山形県知事	令和2年12月1日～ 令和4年11月30日	委員
伊藤眞知子	酒田市女性活躍推進懇話会	酒田市長	令和2年4月～ 令和3年3月	委員
	庄内町男女共同参画社会推進アドバイザー	庄内町長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	委員
	生涯学習施設「里仁館」	生涯学習施設「里仁館」理事長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	常任理事
	山形県公益認定等審議会委員	山形県知事	令和2年5月27日～ 令和5年5月26日	委員
	山形県男女共同参画審議会	山形県知事	令和2年11月1日～ 令和4年10月31日	委員
澤邊みさ子	鶴岡市障害者施策推進協議会 鶴岡市障害者自立支援協議会運営委員会	鶴岡市長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	委員
	山形県立酒田特別支援学校学校評議員会	山形県教育委員会委員長	令和2年6月8日～ 令和3年3月31日	評議員
	酒田市立浜田小学校学校評議員会	酒田市教育委員会委員長	令和2年5月1日～ 令和3年3月31日	評議員
	(福)光風会苦情解決第三者委員会	(福)光風会理事長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	委員
	山形県教育懇話会	山形県教育委員会教育長	令和2年9月16日～ 令和4年3月31日	委員
	(福)酒田市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会	(福)酒田市社会福祉協議会	令和2年1月13日～ 令和5年会計年度にかかる定時評議員会集結の時まで	委員
渡辺 暁雄	酒田市食育・地産地消推進委員会	酒田市長	令和3年1月27日～	委員長

氏名	業務内容等	依頼先	任期	役割
日比 眞一	(一社)山形県社会福祉士会理事	(一社)山形県社会福祉士会	令和2年6月21日～ 2年後の総会まで	理事
	第70回山形県・県民福祉大会	山形県社会福祉協議会	令和2年11月30日	監事、 大会委員
灰谷 和代	(福)明照浄済会 監事	(福)明照浄済会理事長	令和元年6月15日～ 令和3年定時評議委員 会終結時	監事
門松 秀樹	山形県明るい選挙推進協議会委員	山形県選挙管理委員会委員長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	委員
樋口 恵佳	令和2年度第1回山形県行政支出 点検・行政改革推進委員会の事前 説明	山形県知事	令和2年7月2日～	委員
	令和2年度山形県行政支出点 検・行政改革推進委員会	山形県行政支出点検・行政改 革推進委員会	令和2年7月17日～	委員
	山形県海岸漂着物対策推進地域 計画の改訂に係る検討会	山形県知事	令和2年7月29日～	委員
吉村 昇	次期エネルギー政策推進プログ ラム策定検討委員会	山形県知事	令和2年年9月8日～ 次期エネルギー政策 推進プログラム案の 策定終了まで	委員